

市民と市役所が

ツナガル通信

Vol. 1



Contents

- ≫ 「岡山市協働のまちづくり条例」
見直し市民案が市長に提出されました！
- ≫ ESD・市民協働推進センターを
ご活用ください！
- ≫ 協働モデル事業紹介
- ≫ 協働の手引き
～岡山市職員インタビュー～

発行日：平成27年6月4日

発行元：ESD・市民協働推進センター

「岡山市協働のまちづくり条例」 見直し市民案が市長に提出されました！

「岡山市協働のまちづくり条例」（平成12年制定）を見直し、さらに協働を推進していくための条例にするための「見直し市民案」が、6月1日に市長に提出されました。



この見直し市民案は、平成24年度にスタートした「岡山市・NPO協働推進協議会」が、市民協働フォーラムやアンケートで出された意見をまとめる形で作成したものです。また「岡山市市民協働推進会議ワーキングチーム」の職員のみなさんとNPOのみなさんが一緒に検討してきた「市民協働を進めるには」のワークショップで出された意見ももりこんでいます。

「見直し市民案」とその作成の経過は「つながる協働ひろば」をご覧ください。

今後、この市民案を受け止めて、条例改正についての

案を岡山市が作成し、パブリックコメントや公聴会、市議会での議論も経て、平成28年4月施行を目途に条例改正が進められます。

これからも職員参加、市民参加でよりよい条例にしていきたいですね。そして、市民協働を進める力になる条例としていくことをご一緒に目指していきましょう。

この記事の続き、
詳しい様子は
「つながる協働ひろば」で
見るコトができます！

要チェック！



「つながる協働ひろば
～岡山市の協働推進条例をみんなでつくろう！！～
<http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/pages/3901>

ESD・市民協働推進センターをご活用ください！

昨年6月17日に設置した「ESD市民活動推進センター」を、平成27年4月1日から「ESD・市民協働推進センター」に名称変更し、ESD市民活動の推進とともに、より一層市民協働を進めていくために運営体制を強化しました。NPO法人岡山NPOセンターのスタッフ4名が運営しています。市民協働企画総務課と一緒に行政とNPO等をつなぐお手伝いをし、協働事業の事業化や効果を高めるサポートを行います。また次のようなNPOに関する様々なご相談に応じますので、お気軽にお立ち寄り、ご相談ください。

「岡山市内で活動しているNPO法人等や協働についての詳しい情報を知りたい」
「NPO法人等へ助言・提案を得たい」
「事業をサポート、受託してくれるNPO法人などを探したい」
「NPO法人などとの会議をコーディネートしてほしい」
「岡山市内のNPO法人などを対象とした情報発信に協力してほしい」

そんなご相談があれば、是非ご連絡ください。



事業プロデューサー
石原 達也



センター長
高平 亮



コーディネーター
岩崎 春加



コーディネーター
渡辺 泉

平成 27 年度市民協働モデル事業、決定しました！

岡山市各課と市民（NPO）が共通の目標達成に向けて力を合わせて市内の課題解決に取り組む「市民協働推進モデル事業」の平成 27 年度事業が決定いたしました。今後、本格的に事業が展開される各事業にぜひご注目・ご期待ください！

1 児童養護施設退所児童等へのアフターケア事業

実施団体：NPO 法人子どもシェルターモモ
協働担当課：岡山っ子育て局子ども総合相談所、こども企画総務課

事業予算：1,976 千円

解決を目指す課題：児童養護施設、自立援助ホーム等を退所した子ども・若者たちが社会的に自立するための指導・相談機会が十分になく、退所後も孤立を深め、困難を抱えやすい状況にある。

解決手法：常設の居場所を拠点とした相談窓口の運営と施設等に入室している子ども・若者を対象とした「退所前学び事業」を実施する。

2 困難を抱える青少年のための ぷらっとホーム事業

実施団体：フリースペース あかね
協働担当課：教育委員会事務局指導課、岡山っ子育て局地域子育て支援課

事業予算：2,508 千円

解決を目指す課題：適応指導教室に通所することが困難な不登校児や公的支援の活用に至らない若者に対して継続的に学習や就労訓練などを提供できるサービスがない。

解決手法：行政サービスを利用できない子ども・若者のための居場所を運営しつつ、対象者の年齢を問わず自立や行政サービスの活用に向けた学習・就労支援を提供する。

3 幼児期の子どもをもつ親への 児童虐待の予防・啓発事業

実施団体：CAP おかやま
協働担当課：保健所 健康づくり課

事業予算：440 千円

解決を目指す課題：児童虐待の発覚件数は増加の一途をたどっており、その対策としては事後の「治療」分野が主流となっている。

解決手法：1歳6か月検診、3歳検診に来所した親を対象として「子どもの発達」に関する情報やグッズ等を活用した啓発を行う。

4 眠った人財「女性」の再就職を実現推進するための サポート事業

実施団体：NPO 法人輝くママ支援ネットワークぱらママ
協働担当課：市民協働局 女性が輝くまちづくり推進課

事業予算：1,841 千円

解決を目指す課題：女性が社会復帰を進めるうえで消極性（不安）やスキルの衰退が問題となっている。また、企業ニーズとのミスマッチも発生しやすく、きめ細やかな情報提供と支援が必要となっている。

解決手法：女性に対して自身の強みを見つけ、伸ばすための講座を実施するとともに女性と企業との交流・意見交換の機会を設け、相互の意識変革を促す。

5 中学生が地域の大学生、 保護者と交流するキャリア教育授業のモデル化

実施団体：NPO 法人だっぴ
協働担当課：教育委員会事務局 指導課、生涯学習課

事業予算：900 千円

解決を目指す課題：子どもが人格や将来の希望を形成するうえで、周囲の大人から受ける影響は決して少なくない。多様な生き方、働き方を知らなければ、狭い視野で理想を設定してしまい、叶えられなかった場合、不登校や非行へ陥ることがある。

解決手法：中学生が地域の「魅力的な大人」との話し合いを通じて、仕事観、人生観、地域への愛着などを形成するための多様な価値に触れる機会を提供する。

6 発達障害等で悩んでいる方に対して、 寄り添える人材の養成事業

実施団体：NPO 法人ふれあい・ひろば
協働担当課：岡山っ子育て局 発達障害者支援センター

事業予算：1,192 千円

解決を目指す課題：発達障害の子を持つ親が悩みを肯定的に受け入れ、生きがいに代えていくためには同じ境遇の人（または経験者）に悩みを打ち明け、話を聞くことが不可欠であるが、機会が限られている。

解決手法：発達障害で悩む人に寄り添い、適切なサポートを行うことができる人材を養成する。養成課程を修了した人材が新たに場をつくり、気軽に参加して悩みを打ち明けることのできる機会を拡充していく。

7 マンションアドバイザー派遣事業

実施団体：NPO 法人岡山県マンション管理組合連合会
協働担当課：都市整備局 住宅課

事業予算：259 千円

解決を目指す課題：マンションの老朽化と居住者の高齢化（とそれともなう孤立化）など、現代のマンションが抱える課題は多岐に渡っている。行政も個人情報及びプライバシーの保護の理由から実態把握や具体的な支援に至りづらい状況にある。

解決手法：市内の各マンション管理組合へ出向き、管理運営上の諸問題への相談に対応するとともに専門家等をアドバイザーとして派遣する。

市民協働の手引き ～岡山市職員インタビュー～



「協働のすすめ」市民協働局市民協働企画総務課 市民活動支援室 室長 赤木和彦さん

市民協働企画総務課 市民活動支援室長の赤木です。

現在、「岡山市協働のまちづくり条例」を見直しており、平成 28 年 4 月 1 日施行の予定です。

この条例は平成 12 年 6 月制定、施行から 14 年が経ち、安全・安心ネットワークは、市内全学区・地域に組織され、NPO 法人数も平成 13 年当時岡山市では 34 法人でしたが、平成 26 年度には 300 を超えるなど、条例制定当時とは市民活動の状況は、大きく変わってきています。

また、少子高齢化や人口減少時代に入り、社会課題も多様化しています。こうした多様化した社会課題にしっかり答えながらまちづくりを進めていくためには行政だけでは限界があり、NPO 等がまちづくりのパートナーとして協働していくことが大切です。

次回からの通信をとおして「協働」をしっかりと身につけて仕事に役立ててください。